

第15回八戸市中心市街地活性化協議会

議事録

1. 開催年月日 平成24年11月27日(火) 14:00~15:30
2. 開催場所 八戸商工会館4階大会議室
3. 出席者数 (1)委員 22名
(2)オブザーバー 3名
(3)事務局 6名(タウンマネージャー含む)
(4)八戸市 3名

4. 議事の概要

事務局から開会を宣し、福島会長挨拶の後、会長が議長となり直ちに議事に入った。

第1号議案 第2期八戸市中心市街地活性化基本計画について

八戸市まちづくり文化推進室 安原GLより第2期八戸市中心市街地活性化基本計画の素案について、事務局よりこれまでの中活協関連並びに関係会議において出された第2期計画に対する意見について説明した。議長は議場に意見を求めたところ、下記のとおり意見が出された。

(A委員)

基本計画の区域について、道路と一致している部分と微妙にずれている部分があるが、ずれている部分は、道路の両面を含むと考えていいのか。

(市まちづくり推進室)

計画の中で説明した「街かどミュージアム運営事業」が、八戸クリニックがあるあたりで、道路と道路に面する部分が含まれる。それ以外の部分は概ね道路での線引きとなっている。

(A委員)

まちなかの回遊性を高めるために、モザイクアートを使ったまちづくりを計画している。第2期計画の中に入れていただき、皆さんの賛同を得てやって行きたいと思っているので、よろしく願いしたい。

(B委員)

パブリックコメントの受付期間、窓口はどこか。基本計画の区域は、第1期計画と変わっているか。

(市まちづくり推進室)

パブリックコメントは、11月28日から12月17日までの期間で実施する予定で、11月28日から市のホームページに掲載する。窓口は市のまちづくり文化推進室だが、他には市内の公民館、南郷区役所、市民サービスセンターで11月29日から受け付ける。基本計画の区域は、第1期と同じである。

(C委員)

11月23日～25日までの3日間、はっち市を開催した。三日間で約21,000人が訪れたが、スタッフを含め駐車場が足りないのを見て回ったところ、三日町P、さくら野立体駐車場、八日町P、長横町の街に近い駐車場は満車状態で、十三日町側が空いていることから、回遊されてないと感じた。

昨年のはっち市は50数店舗のクラフト市だったが、今回は80店舗以上、飲食ブースを入れると100店舗以上の全館を使ったイベントであり、郊外にないものが中心街にあれば離れていても人はくる、必要なものや見たいものがあれば街に人はくると実感した。また、中心街との連携がなかったので、もう少しやり方を工夫する必要があると感じた。

県外やマスコミの方々から、集まっている人がおしゃれな人が多いと言われたほか、県外からきた出店者には朝市と朝ぐるは好評であった。

実行委員のメンバーは若い女性が多く、発想が自由で既存の概念にとらわれない。16回もの実行委員会を開催したが、会議でもめても、最後には「やってみたら？」という意見になる。中心街でも既存の考えを捨てて、新しいやり方が必要だろうと思う。

2015年10月に青年会議所の全国大会を八戸で開催することが決定している。1万人の人が八戸にきたときにどうなるのかという議論をしている。バスは最低100台必要だが、実際止められる場所がない。いろんなことを想定しながら、2期計画の素案を読んでみると、もう少し変わった見方ができるのではないかと。大きいコンベンションを開催したときに何が必要なのか、2期計画にはそういう部分も想定して作ってほしい。

(市まちづくり推進室)

現時点では、青年会議所の全国大会は計画を作っている中では想定していないが、これからの策定の中で、計画に掲載できるか検討したい。はっちに関連する事業については、実行委員会も含めて、はっち運営事業に掲載することにしている。はっちの取り組みについては様々新しい取り組みもあり、継続さらには拡充という表現になっているが、いただいたご意見を踏まえて改めて検討したい。

(会 長)

C委員に関連して、会議所の会頭の立場で、屋内スケート場の委員をしているが、スピード感がない。2015年と言えば間もなくなわけて、受け入れ態勢について万全を期していかなければならない。

(D委員)

C委員の発言にあったとおり、2015年に青年会議所の全国大会を八戸で開催することが決定している。八戸にきていただいた方をどのようにもてなすか、楽しんでもらうかは、これから3年かけて企画を考えていく。どれぐらいの方がリピーターになってくれるのか、いい思いをしてまた八戸にきたいと思ってくれるのか、そこが今後の八戸のためになると考えているので、受け入れ態勢の整備などご協力をお願いしたい。

(E委員)

起業という部分で、はっちにテナントとして入っている方が、そろそろ中心街に出店することを考えるように言われている。中心街に出店するためのフォローアップであるとか、新しい人たちがはっちで気楽に起業体験できることとか、まちづくり事業でどういうふうにフォローアップするのか考えを伺いたい。

(事務局)

2期計画に掲載(想定)している49の個別事業の中に「まちなかチャレンジショップ事業」があるが、中心街にある空き店舗を活用して、はっちを卒業される方やまちの駅でチャレンジBOXをやっている方々を含めて、もう一度中心街にチャレンジしてもらおうという店の形態を作ることを考えている。

また、自分で空き店舗を借りて出店する場合も、会議所がアドバイスや資金面でのご相談に応じるし、中活協にタウンマネージャーもいるので、起業支援の事業については、複合的に展開していきたいと考えている。

予算的なこともあるので、現在、市や関係者と協議している状況である。

意見交換終了後、福島会長から、それぞれの意見を取りまとめて市に提出する旨発言があり、議場に諮ったところ、全員了承した。

第2号議案 その他

事務局より東北新幹線八戸駅開業10周年記念イベントについて説明した。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、15時30分に閉会した。